

# 姫路城城下町跡

—姫路城跡第325次発掘調査報告書—



調査区全景（南から）

平成26年(2014年)

姫路市教育委員会

## 1 調査に至る経緯・経過

姫路市東駅前町 72-1、73-1において自転車駐車場の建設が計画された（図1）。対象地は姫路城城下町跡（県遺跡番号 020169）に該当するため、平成 26 年 6 月 6 日に確認調査（第 323 次調査：調査番号 20140121）を実施した。この結果、遺構が良好に残ることが確認された。その後、開発主体者と協議を重ねたが、建築計画の変更は困難との結論に至り、基礎部分を対象に本発掘調査（第 325 次調査：調査番号 2014230）を実施する運びとなった。調査期間は平成 26 年 8 月 9 日～29 日で、調査面積は 136.86 m<sup>2</sup>である。現地調査終了後、出土品等の整理作業を開始し、本書の刊行をもって完了した。

## 2 調査の概要

調査地は姫路城城下町の南部の外曲輪内に位置する（図2）。調査区の南半では戦後の掘削等が広範囲に認められたが、それ以外では溝、土坑、ピットなどの遺構を検出した（図3）。東端部では約 25cm の表土、約 10cm のにぶい黄橙色土の下にマンガンの集積した黄橙色粘質土が認められ、溝、ピットを検出した（写真3）。中央部では約 20cm の表土・戦災焼土を含む整地層、約 10cm のにぶい黄橙色土、約 10cm の灰白色土（旧耕土）が存在し、その下に 10cm 以上にわたり灰黄褐色シルト質細砂・暗褐色シルト質粘土が堆積していた。開発工事が深さ 50cm 以上に及ばないことから、掘削は標高 11.2m 付近で停止した。中央部では灰白色土を切り込むピット（写真4）、灰黄褐色シルト質細砂を切り込む土坑（写真5）を検出した。西端及び南端部では間知石列（写真6）を、西端部では近代の煉瓦基礎を検出した。

今回の調査で出土した遺物は、備前焼播鉢（1）、丹波焼のラッキョウ徳利（2）、外面に打刷毛目を施した施釉陶器碗（3）、内面に蛇ノ目状釉ハギ及び格子文を有す肥前系染付磁器皿（4）、蛇ノ目凹形高台をもつ染付磁器皿（5）、瀬戸美濃系染付磁器端反碗（6）、外面に草花文を描いた肥前系染付磁器碗（7）、くらわんか手の肥前（波佐見）系染付磁器碗（8）のほか、外面に柿釉を施した焜炉の窓口部の蓋（9）などがある（写真1・2）。



図1 調査区配置図

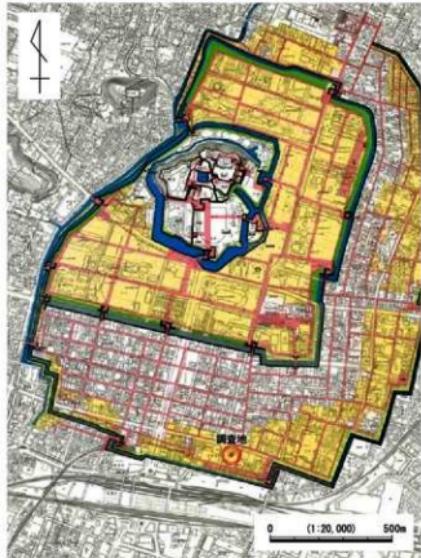


図2 調査位置図（姫路市 1986『姫路城跡（城郭図）』に加筆）

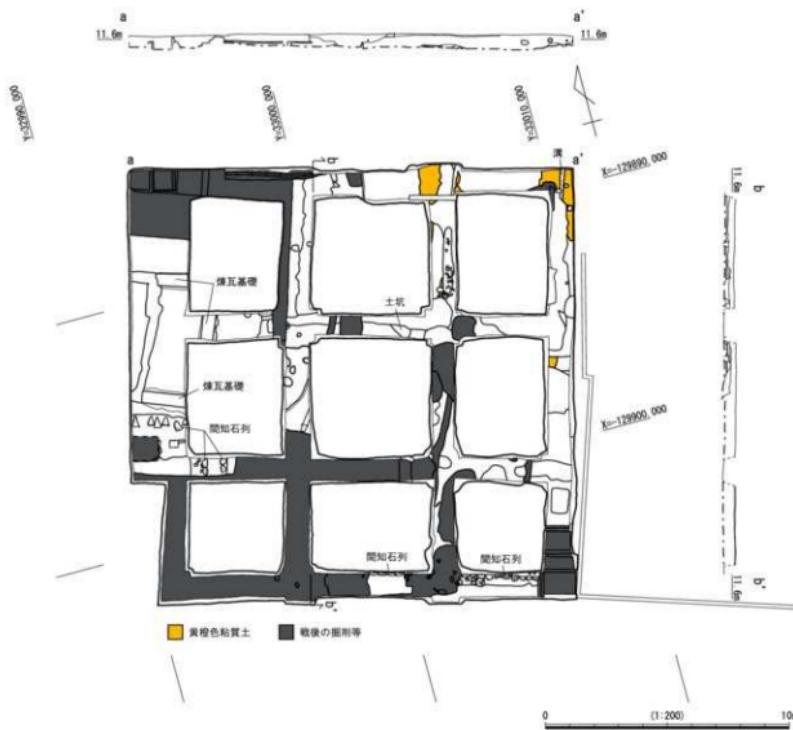


図3 遺構全体図・断面図

### 3まとめ

城下町絵図から調査地は姫路城城下町外縁部の武家屋敷地に比定される。調査範囲の制約から、今回の調査成果のみで遺構の性格を言及できるものではないが、出土遺物は17世紀後半から19世紀代にわたっており、江戸時代中期から幕末頃の外曲輪内の武家屋敷地における生活の一端を窺うことができた。



写真1 陶磁器



写真2 煙炉の風口部の蓋



写真3 北東部で検出した溝・ピット（南西から）



写真4 中央部で検出したピット（北から）



写真5 中央部で検出した土坑（北から）



写真6 南端部で検出した間知石列（南西から）

## 報告書抄録

ふりがな	ひめじじょうじょうかまちあと					
書名	姫路城下町跡					
期書名	姫路城跡第325次発掘調査					
卷次						
シリーズ名	姫路市埋蔵文化財センター調査報告					
シリーズ番号	第29集					
編著者名	南 憲和					
編著機関	姫路市埋蔵文化財センター					
所在地	〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元414番地1 TEL (079) 252-3950					
発行年月日	2015年3月31日					
所収遺跡名	所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積
ひめじじょうじょうかまちあと 姫路城下町跡	兵庫県姫路市東駅前町 72-1, 73-1	市町村 28201	遺跡番号 020169	34度 49分 42秒	134度 41分 38秒	2014.8.9 ~ 2014.8.29
136.86m <sup>2</sup>	自転車駐車場の建設					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
姫路城下町跡	集落跡	江戸時代	溝、土坑、ピット	陶磁器・土製品		

1 本書は、姫路市東駅前町72-1, 73-1で実施した姫路城下町跡(姫路城跡第325次)発掘調査の報告書である。

2 調査は、公益財団法人 自転車駐車場整備センターからの委託を受け、姫路市教育委員会が実施した。

3 本発掘調査は、姫路市教育委員会埋蔵文化財センターの南薫和が担当した。

4 本書の執筆・編集は南がおこなった。

5 調査に関する写真・図面等の調査記録、出土品は姫路市埋蔵文化財センターに保管している。

6 標高基準は、東京標準平均海面準(T.P.)を基準としている。方位は世界測地系に準拠する平面直角座標系第V系座標北を示す。

7 上層部の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所監修「新版標準色鉛筆」に準拠した。

姫路市埋蔵文化財センター調査報告 第29集

姫路城下町跡

姫路城跡第325次発掘調査報告書

編集 姫路市埋蔵文化財センター

〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元414番地1

行 姫路市教育委員会

〒670-8501 兵庫県姫路市安田西4丁目1番地

発行日 平成27年(2015年)3月31日

印 刷 丸山印刷株式会社